

取扱説明書

COMET ANTENNA

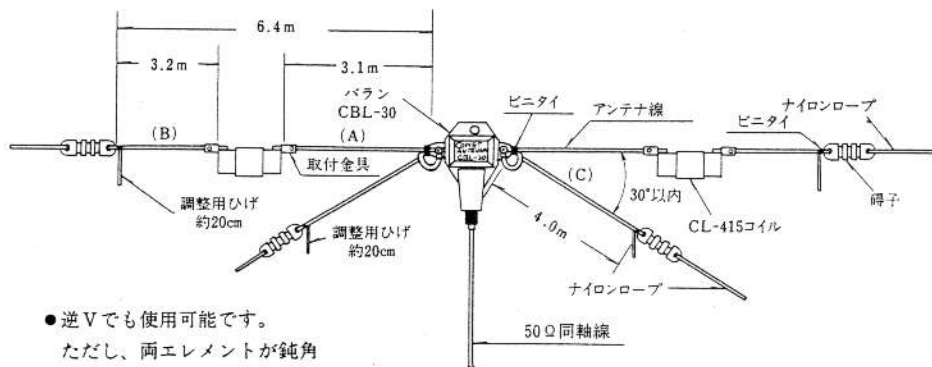
HF帯 3バンド ダイポールアンテナ

MODEL CWA-784 (7, 18, 24MHz)

御買上げいただきまして誠にありがとうございます。

このアンテナの組立ては、ドライバー・ニッパ・スパナ等で簡単に組み立てられ、ハンダ付などは必要としません。又、アンテナ線には撚線を使用し、透明ビニール被覆をしてありますので、柔軟性があり、曲げに強く耐候性に富んでいます。アンテナとしては基本的なものです。調整が取れないと十分に性能が発揮出来ない事がありますので、説明書をお読みの上、作業を行ってください。

〔組立図〕

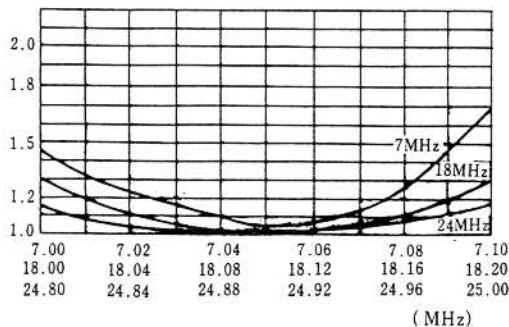


●逆Vでも使用可能です。
ただし、両エレメントが鈍角
(120°)以上。

■定格

周波数帯	7、18、24MHz
入力インピーダンス	50Ω
耐電力	500W (PEP) 300W (CW)
VSWR	1.2以下
全長	12.9m

〔VSWR特性〕



新風を送る技術の コメット株式会社

本社：〒335 埼玉県戸田市美女木1-2-3-9 ☎0484-21-7921(代) FAX 0484-22-1038
 大阪営業所：〒560 大阪府豊中市豊池原町4-1-1-5 ☎06-844-0693 FAX 06-853-2011
 仙台営業所：〒982-01 仙台市青森区上飯田横町8-7-1 ☎022-285-9506 FAX 022-285-9507
 福岡営業所：〒816 福岡市博多区井筒町2-2-5 第3七福ビル ☎092-592-2531 FAX 092-592-2532
 札幌営業所：〒004 北海道札幌市白石区厚別南4-3-4-3 ☎011-892-7575 FAX 011-892-7571

性能向上の為、予告なく外観、仕様を変更する事があります。

〔組立方法〕

1. バランへのアンテナ線(A), (C)の取り付けは、(A)の方は、バランの腕の所に付いているリングの中に線を入れ、リングから約10cm程度の所を、包装用ビニタイ (アンテナ線を縛っていた紐) でしっかり縛ります。そして(A)と(C)の端子板を、ナベビスでバランの腕の両側に1個ずつ取り付け、しっかり締め付けてください。(図-1 参照)

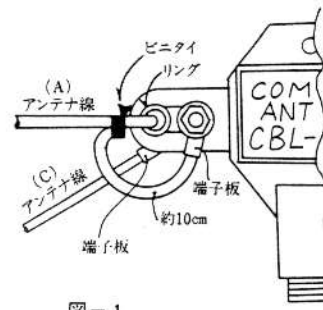


図-1

バランCBL-30

2. コイルへのアンテナ線の取り付けは、コイルの両端に付いている取付金具の穴の中へ線を奥まで入れ、ナベビスでしっかり固定してください。その際、アンテナ線の被覆をはがす必要はありません。

3. 碍子へのアンテナ線の取り付けは、バランの時と同様な形になります。ただし、同調周波数調整用のひげを付けますので、バランの時よりアンテナ線を多く取り(約20cm程度)、ビニタイでしっかり縛りつけた後、組立図の様に下に垂らしておきます。(C)のひげも約20cm程度取っておきます。

〔調整方法〕

1. 最終的に使用する状態にアンテナを張ってから調整にはいってください。(低い所で調整した後、高く上げると同調周波数が高く変化する事があります。) 始めに、24MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(A)エレメント(3.1m)の取付金具のビスをゆるめ、少しづつ切りつめてゆきます。2cm切ると、約100KHz高い方に同調します。

2. 24MHz帯が目的の周波数に同調したら、7MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(B)エレメント(3.2m)の調整用ひげを少しづつ切りつめてゆきます。1cm切ると、約20KHz高い方に同調します。

3. 次に18MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していた時は、(C)エレメント(4.0m)の調整用ひげを少しづつ切りつめてゆきます。2cm切ると、約80KHz高い方に同調します。

〔ご注意〕

- エレメントを切る場合、一度に多くの量を切らないで、少しづつ切りつめてゆく様にしてください。
- 設置場所は、なるべく近くに建物などの物体の少ない所を選んでください。
- バランのコネクター部分には、防水の為、付属の自己融着テープを約2倍の長さに引張りながら、巻き付けてください。そして、その上からビニールテープを巻き付けていただければ、防水は完全です。